

神奈川県立平塚中等教育学校

はくろの散歩 3rd～明日に向かって～ VOL4

【いざという時のために！～職員 AED 講習会の実施～】

5月28日（火）から31日（金）の4日間、第1回定期試験が行われました。廊下を歩きながら教室の中をのぞくと鋭い眼差しで問題を凝視し、思考している生徒の姿が印象的です。放課後には、自習室の机に向かう生徒も多く、ラウンジで黙々と試験勉強に取り組んでいる生徒の姿も見受けられました。

職員室では、生徒の解答用紙を一枚一枚丁寧に確認しながら採点を行っている先生、職員室前テーブルでは、生徒の質問に答えている先生と、いつもの試験期間中の光景ではありますが、毎日忙しくしている先生方に頭が下がります。

試験が終了すると、翠星祭体育部門の練習も本格化します。最近、5月では異例ともいえる猛暑日が続きました。暑さに対して少しずつ慣れてきてはいるものの、急激な活動は体調を崩しかねません。全国各地で発生している学校事故ですが、生徒の命に関わる緊急時に、事故の種類や内容に応じて、我々教職員が対応の仕方を理解し、いざという時に適切に行動することが求められています。

今でも思い出すのは、20年位前に、家族で伊豆下田の海水浴に行った時のことです。海水浴場に設置されているスピーカーから「緊急放送、緊急放送、どなたか心肺蘇生法ができる方はおられますか？ただ今、海岸で倒れている方がいます。」と放送が流れてきました。急いで現場に行ってみると、初老の方が波打ち際で横たわっていました。倒れている方の横では、すでに胸骨圧迫と人工呼吸をしている方がいました。私はそ

の方の近くに行き、「意識はありましたか？」と質問したところ、その方は「意識ははっきりせず、ここからの声掛けにも反応はなかったです。」と答えてくれました。引き続き、救急対応に当たっていた方に胸骨圧迫と人工呼吸をお願いし、近くにいた親族の方には、体を保温するタオル等の用意を要請しました。しばらくして救急隊員が到着し、対応を任せるところです。その時のことを振り返ってみると、一人ではできないことでも、近くに協力者がいれば何とかできる！ということでした。緊急時にはいつもその時のことが思い出されます。

今回の講習では、心肺蘇生法の手順とAEDの操作方法について、平塚市消防本部の皆様にご指導いただきました。全体で90分の講習も実技と理論を交えながら進めていただき、とても理解しやすく、非常に役立つ内容でした。事故が発生しないように教育活動を行っていきたいと思いますが、いざという時のために、繰り返し、繰り返しの研修の重要性を改めて確認したところです。



AED講習会を
体育館にて実施